

インターネットラジオを通しての 地域貢献プロジェクト

代表者 川柳 佐和子 (法学部法学科4年)

1. 目的と概要

このプロジェクト事業は、「地域を元気に」「商店街の活性化を」などの目標を持ち、地元のためにがんばっている方々に情報発信の場を提供するため、また、私たち学生が地域活性化の担い手になるため、インターネットでラジオ番組を制作・配信しようというものです。個人の手で全世界に発信できる、というインターネットラジオの利点を活かし、香川県の魅力を私たちのできる方法でより多くの方に広めていくことが目的です。具体的には、ゲストパーソナリティとして実際に地域活性化のために活動している方を招きお話を聴いたり、自分たちもイベントなどに参加したりといったことを行いました。また、その内容を番組で配信し、聴いていただくリスナーの方に「自分たちには何ができるのか」を考えるきっかけにさせていただきたいと思います。

2. 実施期間（実施日）

平成22年6月1日 から 平成23年3月31日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

主たる事業であるインターネットラジオ配信は、現在約2週間に1回の頻度で行っています。かがわのためにがんばっている方や、また、直接「地元のために」という活動をしてなくても、私たちが「輝いている（＝自分のできることに一生懸命取り組んでいる）」と思った方をゲストにお呼びし、お話をお聞きしました。ゲストの方がいらっしゃらない時は、イベントの告知など、自分たちでもできる情報発信を行ってきました。

7月には、丸亀駅前の商店街で行われている「かめ市」というイベントでボランティア活動をしている学生の方々にゲストに来て



いただきました。現在シャッター街になりつつある、丸亀市の商店街に活気を呼び戻そうと毎月4回行われているイベントで、地方の商店街の実態や、イベントを継続させることの大変さなど、学ぶことが数多くあった回でした。この放送(第26回)は多くの反響をいただき、今も沢山の方が聴いてくれています。配信から時間が経っても、自分が聴きたいと思った時に聴ける所もインターネットラジオの魅力の一つです。また、放送後、私たちも実際にかめ市に参加し、イベントのお手伝いもさせていただきました。スタジオで話を聴くだけでなく、自分の目で確かめることができたので、今後の番組作りにも役立つのではないかと思います。



より多くの方に番組を聴いていただくために、ツイッターやフェイスブックなどのコミュニケーションツールも積極的に利用しています。それがきっかけで、11月に高松で開催された「Twitterご縁サミット香川」にも参加させていただきました。「ツイッター活用事例発表」というコーナーで、ラジオ番組とツイッターの連携について発表し、イベント全体の司会もメンバーの1人が担当しました。このイベントに参加させていただいたことで、更に多

くの方に番組を知ってもらえました。

また、11月からは番組の収録場所を「e-とぴあかがわ」に変更しました。県民のための施設である「e-とぴあかがわ」をPRすること、香川県のイベント情報などをより多くできるようにするなどの目的があります。

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

番組は配信を開始して1年半余りが経ちました。毎回聴いてくれる方も少しずつ増え、登録リスナー数は1000人以上になっています。番組がきっかけでできた出会いも沢山ありました。ようやく、自分たちの「声」が周囲に届き始めているのかな、と実感しています。そんな中私たちが当初予想していたのと違った点は、「自分たちよりも上の世代の方が多く聞いてくれている」ということです。



これは嬉しい誤算とも言えます。最初は「学生が何かやっている」程度の認識でも、「学生がやっているんだから自分も」と何か地元のために考えるきっかけになっているのではないかと期待しています。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

「地域活性化」という言葉は、難しそう、学生にできることではない、というイメージがとても強かったのですが、実際に真剣に考え、取り組んでみて、イメージと現実が異なることがよく分かりました。地域活性とは住民一人一人が自分の住んでいる街のためにできることで、皆がそれぞれ、自分のできることを考えるということがとても大切です。それを気付かせてくれたのがこのプロジェクトの最大の効果でした。

また、現在、番組のメインパーソナリティはそれぞれコミュニティFM局で番組のパーソナリティとして活動しています。このプロジェクトで番組を続けてきたからこそこのことで、そのような意味でもこのプロジェクトは私たちに大きな影響を与えてくれました。

6. 反省点・今後の抱負（計画）・感想等

反省点は、実際に活動できるメンバーが少なかったことです。更にメンバー全員が3年生以上ということもあり、皆なかなか活動のための時間が取れず、それが計画の遅れなどの原因になりました。今後は、必要に応じて下級生のメンバーも増やし、今年度より活発に活動できるようにしたいと思います。しかし、人数が少ないことで良かった点もありました。情報伝達の速さや、フットワークの軽さなどです。お互いに自分の案を積極的に提案することもできました。

そして今年度最後の企画として、3月末に「ことでん」との共同企画を計画しています。高松築港から琴平まで走る「ことでん」の中で、ラジオ番組を収録、配信するというものです。地元住民だからこそできる観光地の紹介や、地元産業と協力した企画で、かがわの魅力を存分に発信できる番組になるとと思います。

今年度実行できた企画の数は少なかったかもしれませんが、一つ一つに皆が一体となって取り組み、その結果、とても多くの出会いがありました。かがわのために、と「輝いて」いる人は想像以上に沢山いる、ということがとても印象に残っています。今後もそんな方のために、自分たちのために、そして何よりかがわのために、このプロジェクトを継続させ、盛り上げていきたいです。

7. 実施メンバー

代表者	川柳 佐和子（法学部4年）	
構成員	長井 佳祐（法学部4年）	藤本 祐毅（工学部3年）
	岡田 智明（経済学部3年）	上田 隆史（法学部4年）
	田中 奨（法学部4年）	貞野 彩（法学部4年）